

八戸

県大会Vを 市長に報告

八戸大女子サッカー部

5月の県女子サッカー選手権を制し、大会2連覇を果たした八戸学院大の女子サッカー部員らが14日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に喜びを伝えるとともに、次なる目標に向けて全力で臨むことを誓った。

同部は同選手権で三本木高、三沢高に圧勝し、決勝

に進出。SHRINE L.F.C(弘前市)に1-0で勝ち、頂点に立った。

市庁には畑中孝太監督、中村雅俊コーチと、主将の續橋菜摘(4年)、成田愛(3年)、横浜菜奈(2年)、下館陽美(1年)の4選手らが訪問。畑中監督が代表して「今後はインカレ(東北予選)や皇后杯(県、東

北予選)に向けて頑張りたい」と決意を語ると、小林市長は「着実に力を付けての優勝をうれしく思う。さらに練習を積んで頑張ってほしい」と激励した。

續橋主将は取材に「結果に満足せず、学んだことを生かし、皇后杯、インカレと勝ち続けたい」と答えていた。同部は昨年、一昨年とインカレ東北予選を経て本大会に出場したが初戦で敗れており、今年も「全国初勝利」を目指し、今後の大会に臨むという。



小林市長(左)に優勝を報告し、記念写真に納まる八戸学院大女子サッカー部員ら

(右村史生)